学校番号	320

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもがどう発達するか、子どもにはどんな保育が必要かなどについて、とくに、職業として子どもにかかわる保育者の視点から実践を踏まえて学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

【知識・技能】乳幼児の発達や保育の理念・役割、安全や環境構成、遊びの意義など基礎的知識を理解し、読み聞かせ・手遊び・簡単な援助などの基本的な保育技術を習得する。
【思考力・判断力・表現力等】子どもの行動や発達の様子を観察して背景を考察し、保育のねらいに基づいて活動を計画・実践し、その意図や工夫を適切に説明・表現できる力を養う。
【学びに向かう力・人間性等】子どもの生命と人格を尊重する姿勢を育て、協働的に学びながら保育への関心を深め、保育者として求められる倫理観と主体的に学ぶ態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	乳幼児の発達、保育の理念・役割、安全や健康、環境構成、児童福祉、遊びの意義など保育に関する基礎的知識を理解し、読み聞かせ・手遊び・簡単な援助などの基本的な保育技術を適切に身につけている。	子どもの行動や発達の様子を観察し、その背景を考察したうえで適切な援助や環境を判断できる。また保育のねらいに基づいて活動を計画し、その意図や工夫を自分の言葉で説明・表現できる。	子どもの生命と人格を尊重する姿勢をもち、協働的に学びながら保育への関心を深め、保育者として求められる倫理観や責任感を育む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	○保育の意義 ○保育の環境 ○保育の方法	a:保育の意義について理解し、保育の環境の向上に必要な知識や技術を身に付けている。 b:保育の環境の現状を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:保育の方法について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	考査 パフォーマンス課題	考査 パフォーマンス課題 レポート	学習状況 パフォーマンス課題 レポート
	子どもの発達	○子どもの発達特性 ○乳幼児の発達と保育 ＊絵本の読み聞かせ	a:子どもの発達特性とそれに伴う乳幼児の保育について理解し、必要な知識や技術を身に付けている。 b:子どもの発達を考え、適切な環境を考える。 c:発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	考査 パフォーマンス課題	考査 パフォーマンス課題 レポート	学習状況 パフォーマンス課題 レポート
2学期	子どもの生活	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事 ○子どもの衣服と寝具 ○子どもの健康と安全 ＊調理実習1 ＊調理実習2	a:子どもの健康について実習を中心とした学習を通して必要な知識を身に付けている。 b:子どもの特性を総合して食事や衣服を選択できる。 c:子どもの生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	考査 調理実習 パフォーマンス課題	考査 パフォーマンス課題 レポート	学習状況 パフォーマンス課題 レポート
	子どもの文化	○子どもの文化の意義 ○子どもの文化を支える場 ○子どもと遊び ○子どもの表現活動 ＊保育所実習	a:子どもの文化について実習を中心とした学習を通して必要な知識を身に付けている。 b:子どもの文化や遊びについて考え、適切な子どもと関わりを設定できる。 c:子どもの文化に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	考査 パフォーマンス課題 実習	考査 パフォーマンス課題 レポート 実習	学習状況 パフォーマンス課題 レポート 実習

3学期	子どもの福祉	○保育にみる児童観 ○児童福祉の理念と法律･制度	a: 子どもを権利の主体として捉える児童観と児童福祉の理念・法律・制度の基本を理解する。 b: 保育場面で福祉理念の視点から子どもの状況を考察し適切な援助を判断することができる。 c: 子どもの福祉について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 レポート	学習状況 パフォーマンス課題 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度